



DevPartner Java Edition 4.3 用 ライセンス導入簡易ガイド Windows 編

DevPartner Java Edition 4.3

2008 年 7 月 第 2 版
日本コンピュータ株式会社



ご注意

- この資料の一部または全部を、日本コンピュータ株式会社の書面による事前の許可なく、いかなる形態においても使用、複製、開示することはできません。
- この資料の記載事項は、将来予告なしに変更されることがあります。
- 本書は、Windows 上でのライセンスファイルの取得ならびに Distributed License Management 4.1 のインストール、ライセンスファイルの導入までを簡易的に説明したドキュメントです。
その他、以下のドキュメントを用意しています。ご利用される環境に併せて、参照してください。
「DevPartner Java Edition 4.3 用 ライセンス導入簡易ガイド UNIX 編」
- 本書は、日本コンピュータ株式会社が独自に作成したドキュメントです。本書に記載がない詳細情報については、Distributed License Management Licensing Guide(英語表記、ファイル名：Compuware License Guide.pdf)をご参照ください。
なお、インストールされるライセンス管理ユーティリティ Distributed License Management は、英語版です。

DevPartner は、Compuware Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名は関連するそれぞれの会社の商標または登録商標です。

資料番号 DPJ-LIC-20080730-1

発行日 2008.07.30 第二版

Copyright © 2008 Compuware Japan Corporation. All rights reserved.

目次

第1章 はじめに	4
本書の表記について	4
ライセンスの体系	4
ライセンスマネージャがサポートしているOS.....	8
第2章 ライセンスを導入するまでの流れ	9
1. 準備	9
DPJネームド ライセンスの場合	9
DPJコンカレント ライセンスの場合	9
2. ライセンス マネージャのインストール.....	10
3. Host IDの取得	11
4. ライセンスの申請.....	11
5. ライセンス ファイルの入手	13
6. ライセンスの適用.....	14
DPJネームド ライセンスの適用	14
DPJコンカレント ライセンス (ライセンス サーバ) の適用	16
DPJコンカレント ライセンス (クライアント) の適用.....	19
第3章 FAQ	20
第4章 お問い合わせ	エラー! ブックマークが定義されていません。

第1章 はじめに

- ◆ 本書の表記について
- ◆ ライセンスの体系
- ◆ サポート OS

本書の表記について

本書では、以下の名称で記述しています。

- ・ DevPartner Java Edition を、「**DPJ**」
- ・ ライセンス サーバーとして使用する端末を、「**ライセンス サーバー**」
- ・ 製品をインストールして使用する端末を、「**クライアント**」
- ・ ライセンスを管理するアプリケーションを、「**ライセンス マネージャ**」
- ・ License Administration Utility を、「**LAU**」
- ・ Distributed License Management を、「**DLM**」

ライセンスの体系

以下の4体系のライセンスを提供しています。

DPJ 本体のライセンス

DPJ をインストールした環境に対し有効な、DPJ 本体に対するライセンスです。

- ・ ネームド・ライセンス (以降、DPJ ネームドと略します)

メモ: DPJ ネームドは、ライセンス マネージャでは Node-Locked (ノードロック) と [Count] 項目に表示されます。

- ・ コンカレント・ライセンス (以降、DPJ コンカレントと略します)

DPJ サーバーのライセンス

DPJ がインストールしてある環境に、別の環境からリモートでアクセスする人の人数に対し、有効なライセンスです。

- ・ ネームド・ライセンス (以降、サーバー ネームドと略します)

メモ: サーバー ネームドは、ライセンス マネージャでは Node-Locked (ノードロック) と [Count] 項目に表示されます。

- ・ コンカレント・ライセンス (以降、サーバー コンカレントと略します)

可能な組み合わせ

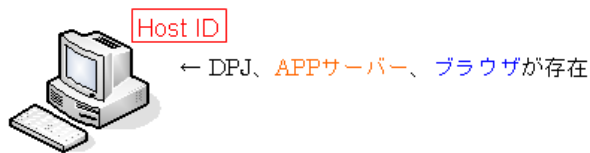
	なし	DPJ ネームド	DPJ コンカレント
なし	✕	①	②
サーバーネームド	✕	✕	③
サーバーコンカレント	✕	✕	④

①DPJ ネームド・ライセンスについて

DPJ をインストールしたスタンドアローンのライセンスです。

(ノードロック、マシン固定ライセンス)

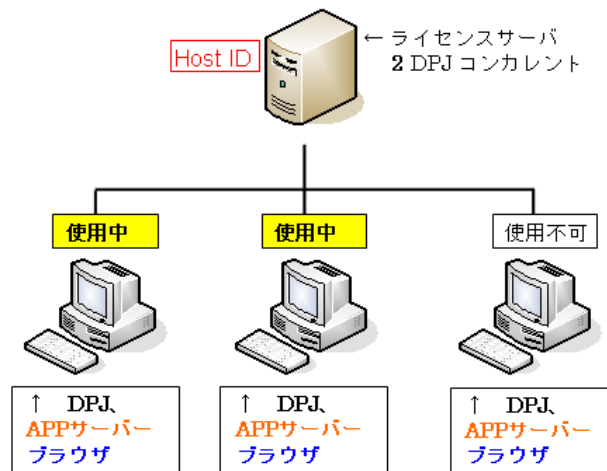
- ・ DPJ、APP サーバー、ブラウザがあり、この環境のみで使用可能なライセンスです。
- ・ Host ID は、**DPJ をインストール マシン**のものを取得してください。



②DPJ コンカレント・ライセンスについて

同時使用の DPJ 数を管理するライセンスです。クライアントのインストールは無制限です。

- ・ ライセンス マネージャ上に接続する全てのマシンにインストールが可能です。
- ・ 利用可能なマシンにそれぞれ、DPJ、APP サーバー、ブラウザがインストールされている必要があります。
- ・ Host ID は、**ライセンス サーバー**のものを取得してください。



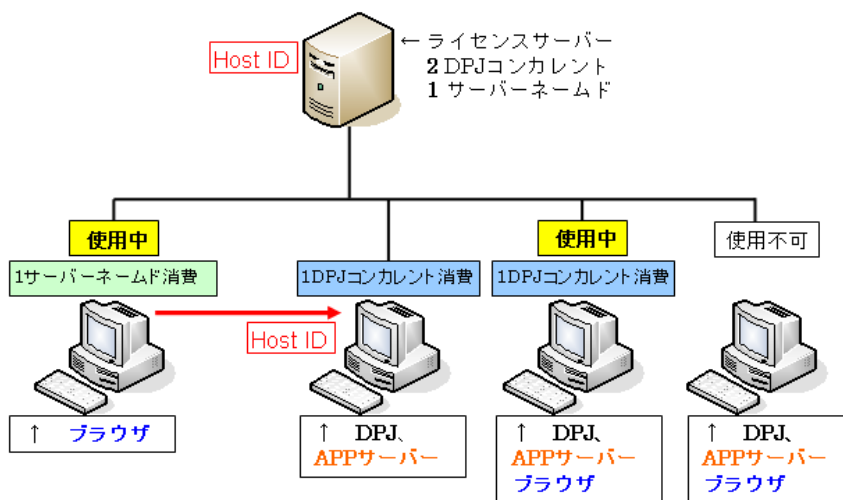
③DPJ コンカレント+サーバー ネームドについて

同時使用の DPJ 数を管理するライセンスです。クライアントのインストールは無制限です。

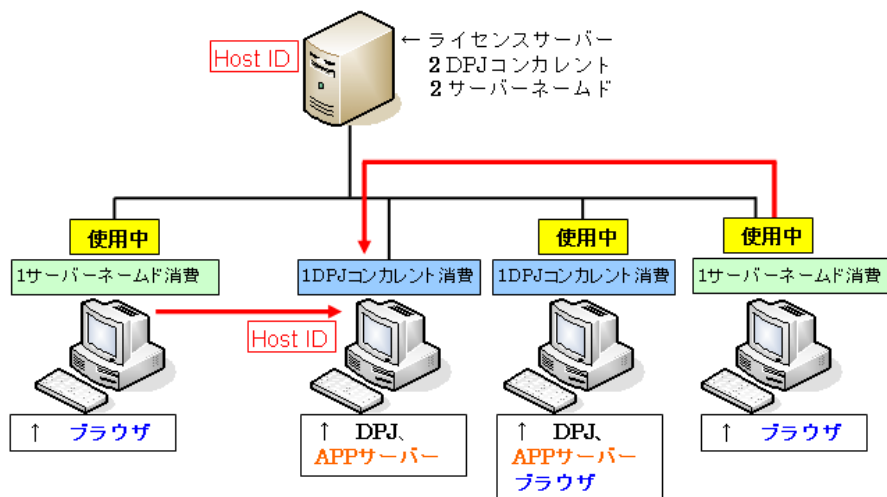
- ・ ライセンス マネージャ上に接続する全てのマシンにインストールが可能です。
- ・ Host ID は、DPJ コンカレントはライセンス サーバーのもの、サーバー ネームドは、サーバー ライセンスを有効にするマシンのものを取得してください。

メモ：サーバー ネームドはライセンスを取得したマシン、ライセンス サーバーのどちらに置いて構いません。

例1 2 DPJ コンカレント + 1サーバー ネームド



例2 2 DPJ コンカレント + 2サーバー ネームド

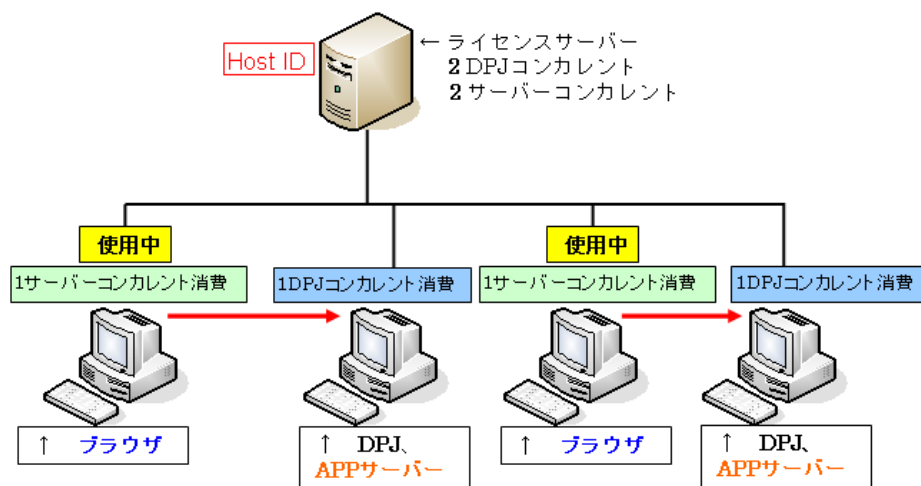


④DPJ コンカレント+サーバー コンカレントについて

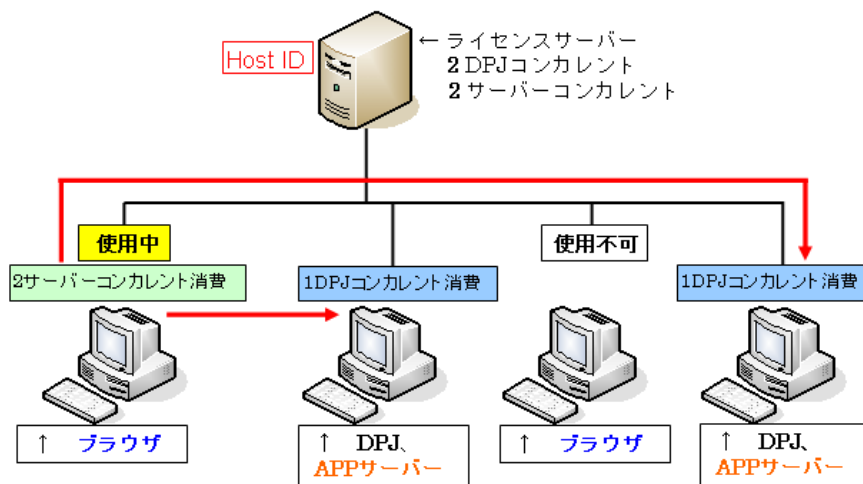
サーバー コンカレント数は、DPJ をインストールされている環境へのアクセス数です。

- ・ ライセンス マネージャ上に接続する全てのマシンにインストールが可能です。
- ・ Host ID は、両ライセンスともライセンス サーバーのものを取得してください。

例1 2 DPJ コンカレント + 2サーバー コンカレント



例2 2 DPJ コンカレント + 2サーバー コンカレント



ライセンスマネージャがサポートしている OS

以下の OS をサポートしています。

	LAU3. 4	DLM4. 2
Windows 2000 Professional SP4	○	○
Windows Server 2000 SP4	○	○
Windows XP Professional SP2 - 32bit	○	○
Windows XP Professional SP2 - 64bit		○
Windows Server 2003 Standard Edition - 32bit	○	○
Windows Server 2003 Standard Edition SP2 - 32bit		○
Windows Server 2003/R2 Standard Edition SP2 - 32bit		○
Windows Server 2003/R2 Standard Edition SP2 - x64		○
Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2 - 32bit		○
Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2 - x64		○
Windows Server 2003/R2 Enterprise Edition SP2 - 32bit		○
Windows Server 2003/R2 Enterprise Edition SP2 - x64		○
Windows Server 2003 SP2 - Web Edition		○
Windows Vista 32bit		○
Windows Vista 64bit		○
Soalris 8 SPARC (32-bit/64-bit)	○	○
Solaris 9 SPARC (32-bit/64-bit)	○	○
Solaris 10 SPARC (32-bit/64-bit)	○	○
Red Hat Linux 9.0	○	
Red Hat Enterprise Linux 3.0 (AS/ES/WS)	○	○
Red Hat Enterprise Linux 4.0 (AS/ES/WS)	○	○
AIX 5.1 (32-bit/64-bit)	○	
AIX 5.2 (32-bit/64-bit)	○	○
AIX 5.3 (32-bit/64-bit)		○
HP-UX 11i v1 PA-RISC (32-bit/64-bit)	○	○
HP-UX 11i v2 Itanium (32-bit/64-bit)		○
HP-UX 11i v3 Itanium		○

注意： ライセンス マネージャは 64-bit で動作する OS に対してインストール可能ですが、DevPartner Java は 64-bit 環境での動作はサポートされていません。

第2章 ライセンスを導入するまでの流れ

ライセンスを導入するまでの流れは、以下の順番となります。

1. 準備
2. ライセンス マネージャのインストール
3. Host ID の取得
4. ライセンスの申請
5. ライセンス ファイルの入手
6. ライセンス ファイルの適用

1. 準備

ライセンス申請を行うには、ライセンス マネージャ (DLM) が必要になります。

DPJ ネームド ライセンスと、DPJ コンカレント ライセンスおよび DPJ コンカレント ライセンス(サーバー ライセンス付)では、ライセンス マネージャのインストール方法が異なります。

DPJ ネームド ライセンスの場合

DPJ ネームド ライセンスの場合、ライセンス申請する前に DevPartner をインストールします。ライセンス マネージャは DevPartner Java と同時にインストールされるため、【2. ライセンス マネージャのインストール】は必要ありません。

なお、DevPartner Java はライセンスが存在しない状態でも 14 日間の評価版として動作可能です。もし、ライセンス マネージャのみを先にインストールする場合は、【2. ライセンス マネージャのインストール】を行います。

DPJ コンカレント ライセンスの場合

DPJ コンカレント ライセンスの場合、ライセンス申請する前にライセンス サーバーとなる PC を選定します。その後、【2. ライセンス マネージャのインストール】を行います。DPJ コンカレント ライセンスにサーバー ネームドまたはサーバー コンカレントが付与されている場合も同様です。

【ライセンス サーバーの選定】

ライセンスを管理するライセンス サーバーは、小さなネットワーク アプリケーションです。CPU やメモリ資源の使用はわずかですが、以下の点に留意してハードウェアを選定してください。

- ✧ VMWare や Virtual PC 等の仮想マシンは、ライセンス サーバーとして使用できません。これらのソフトウェア環境は、自由に複製が可能であり、ライセンスが正規使用されているかの判定が出来ないためです。
- ✧ ライセンス サーバーは、製品の使用に当たって必要になる非常に重要な機能を提供します。不定期にシャットダウンするマシンや、安定性に欠くマシンでの運用は避けてください。
- ✧ ファイアウォールや、ルータ、インターネットなどを経由するライセンス サーバーを推奨しません。ネットワークの安定性により、製品が使用できなくなる可能性があるためです。可能な限り、同一ネットワーク上のマシンを利用してください。

2. ライセンス マネージャのインストール

既に Compuware License Administration Utility 3.4 がインストールされている場合で、LAU 3.4 をアップグレードする場合は、[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より LAU 3.4 をアンインストールしてから、以下のインストールを行ってください。

注意： LAU 3.4 で使用しているライセンス ファイルは DLM 4.1 では使用できません。LAU 3.4 で管理しているライセンスが存在する場合は、LAU 3.4 は削除せずに、DLM 4.1 をインストールしてください。

エクスプローラから <CD ドライブ>¥LicMgr¥Win32¥setup.exe をダブルクリックします。

メモ： 64-bit Windows に対してインストールする場合は、<CD ドライブ>¥LicMgr¥Winx64¥setup.exe をダブルクリックしてください。

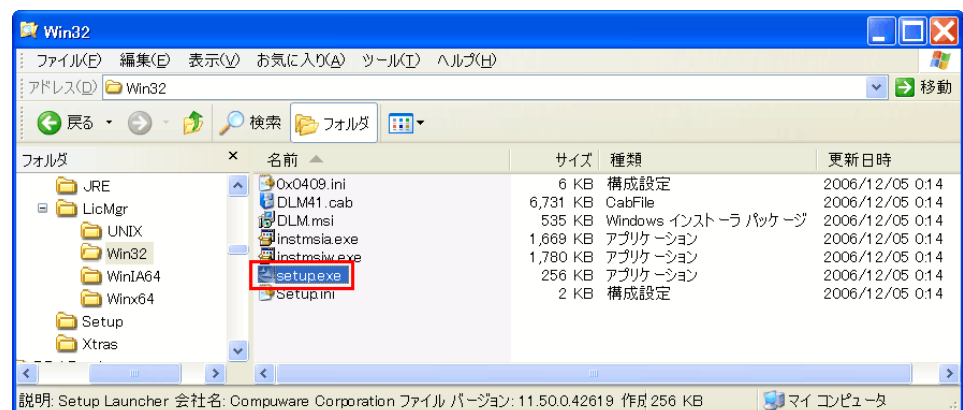


図1 エクスプローラからセットアップを開始する

3. Host ID の取得

ライセンス申請に必要な Host ID、Host Name の情報を取得します。

1. [スタート]ボタンから、[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[コマンドプロンプト]を選択し、コマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のコマンドを実行して、Host ID 情報をテキスト ファイルに保存します。
dlminfo.exe > c:\¥hostinfo.txt

4. ライセンスの申請

DevPartner のライセンス申請は、以下の URL よりオンラインで申請を行います。

http://www.compuware.co.jp/products/devpartner_fm/dps_support.html



図2 ライセンス申請ページ

ユーザ登録ならびライセンス申請を行います。

【3.Host IDの取得】で保存したテキスト ファイルをメモ帳等のエディタで開き、Host IDの値およびHost Nameの値をコピー&ペーストしてください。

なお、Host IDの項目にHost IDが複数存在している（複数NICがある）場合は、必ず1番目（左端）のHost IDを申請してください。

また、サブスクリプション証書番号とは、サブスクリプション証書に記載されている番号です。

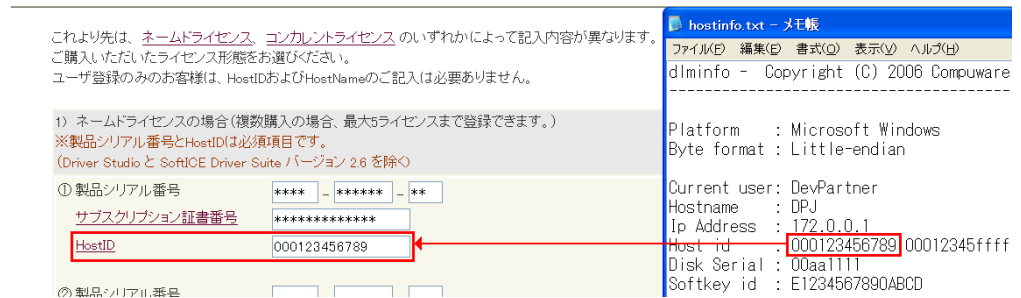


図3 ネームド ライセンスの申請

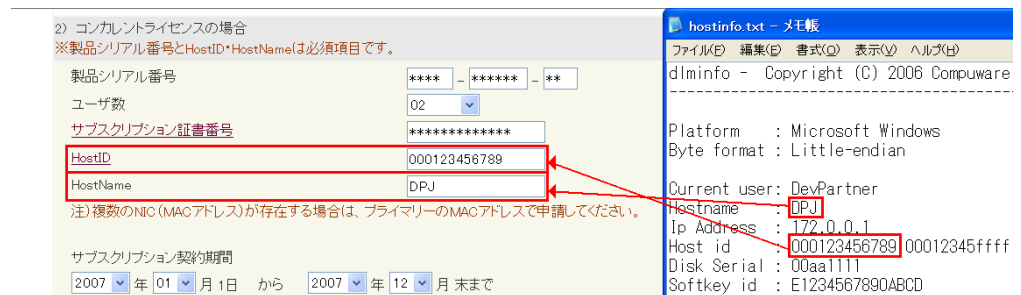


図4 コンカレント ライセンスの申請

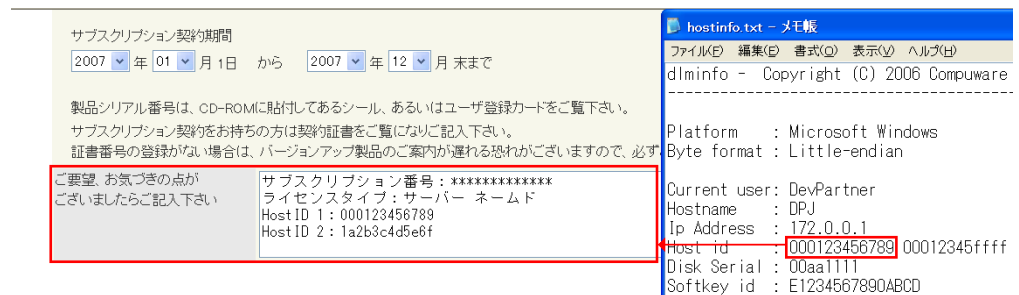


図5 サーバー ネームド ライセンスの申請

必須： ライセンス発行画面には、サーバー ライセンスを申請する専用フォームは提供されていません。そのため、サーバー ネームド ライセンスを申請する際は、[ご要望]欄にライセンス発行に必要な情報を入力してください。

入力していただく内容は、[サブスクリプション証書番号]、[ライセンス タイプ]、[HostID]、[ユーザー数]です。また、複数のサーバー ネームド ライセンスを申請する場合は、HostID 1、HostID 2、...のように複数の[HostID]を入力してください。

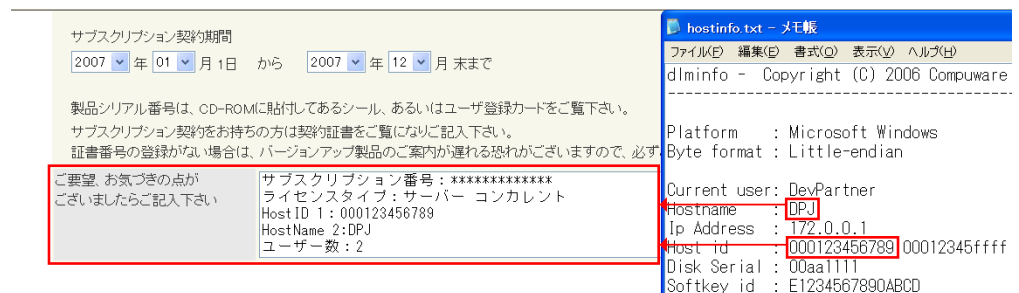


図6 サーバー コンカレント ライセンスの申請

必須： ライセンス発行画面には、サーバー ライセンスを申請する専用フォームは提供されていません。そのため、サーバー コンカレント ライセンスを申請する際は、[ご要望]欄にライセンス発行に必要な情報を入力してください。

入力していただく内容は、[サブスクリプション証書番号]、[ライセンス タイプ]、[HostID]、[HostName]、[ユーザー数]です。

5. ライセンス ファイルの入手

ライセンス ファイルの発行には、通常 1 週間前後かかります。

ライセンス ファイルは弊社カスタマーサポートセンターよりメールの添付ファイルとして、xml 形式のテキスト ファイルが送信されます。

メール受信に問題が発生した場合などは、弊社営業部までご連絡をお願い致します。

6. ライセンスの適用

ライセンスの適用方法は、以下のライセンスの種類で異なります。

【DPJネームド ライセンスの適用】

【DPJコンカレント ライセンス (ライセンス サーバ) の適用】

【DPJコンカレント ライセンス (クライアント) の適用】

DPJ ネームド ライセンスの適用

サーバー ライセンスが含まれない、DPJ ネームド ライセンスのみの場合は、本手順を参照し、ライセンスの適用処理を実行してください。

1. ライセンス ファイルを日本語が含まれないパスに保存してください。
例) C:¥License¥License.xml
2. Windows の[スタート]ボタンから、[プログラム]>[Compuware]>[Distributed License Management] を選択し、ライセンス マネージャを起動してください。
3. [Local Environment]タブの[Add...]ボタンをクリックしてください。

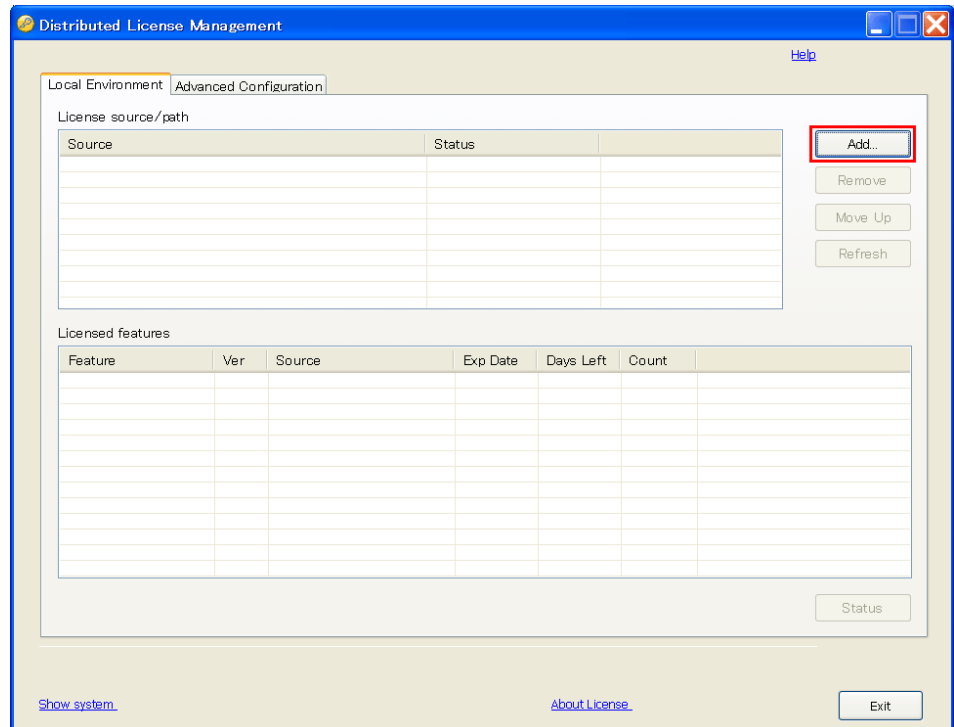


図7 ライセンス ファイルを追加する

4. [Browse for a license file on disk]をクリックし、保存したライセンス ファイルを指定してください。ライセンス ファイルのパスが表示されたことが確認できたら、[ok] ボタンをクリックしてください。

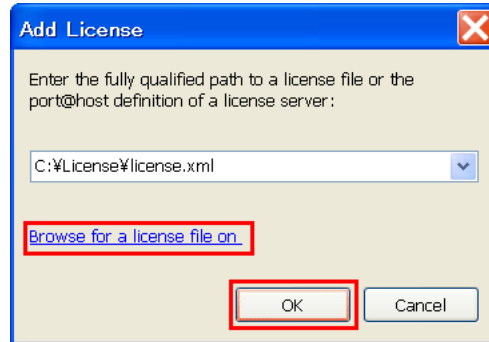


図8 License.xml を指定します。

5. ライセンス ファイルが適用されると、[Status]項目に以下のように表示されます。

メモ： DPJ ネームド ライセンスの場合、"File exists – operational"

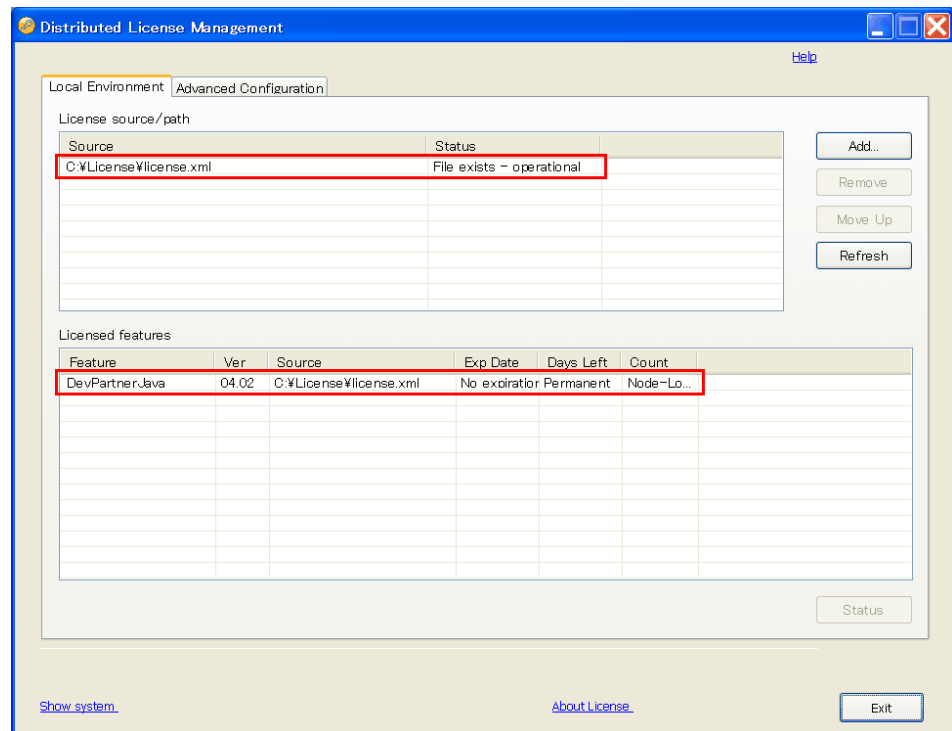


図9 DPJ ネームド ライセンス適用後

DPJ コンカレント ライセンス（ライセンス サーバ）の適用

DPJ コンカレント ライセンスおよびDPJ コンカレント ライセンス + サーバー ライセンスを使用する場合の適用手順は同一です。以下の手順を参考に適用処理を実行してください。

1. ライセンス ファイルを日本語が含まれないパスに保存してください。
例) C:¥License¥License.xml
2. Windows の[スタート]ボタンから、[プログラム]>[Compuware]>[Distributed License Management] を選択し、ライセンス マネージャを起動してください。
3. [Local Environment]タブの[Add...]ボタンをクリックしてください。

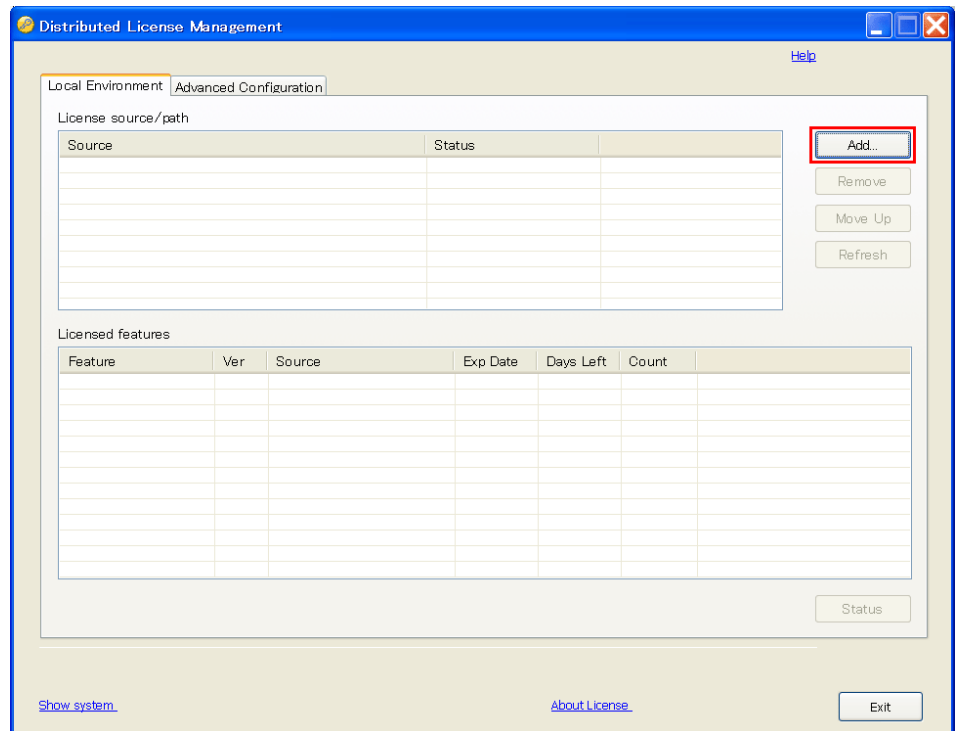


図10 ライセンス ファイルを追加する

4. [Browse for a license file on disk]をクリックし、保存したライセンス ファイルを指定してください。ライセンス ファイルのパスが表示されたことが確認できたら、[ok] ボタンをクリックしてください。

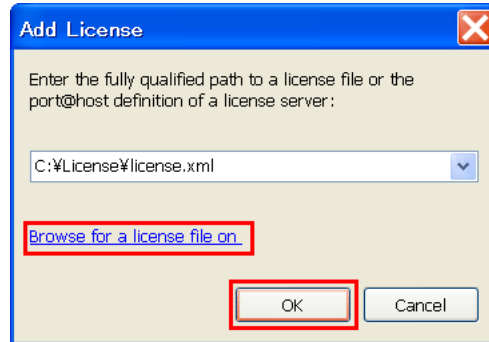


図11 License.xml を指定します

5. ライセンス ファイルが適用されると、[Status]項目に以下のように表示されます。

メモ： DPJ コンカレント ライセンスの場合、"Server is currently up"

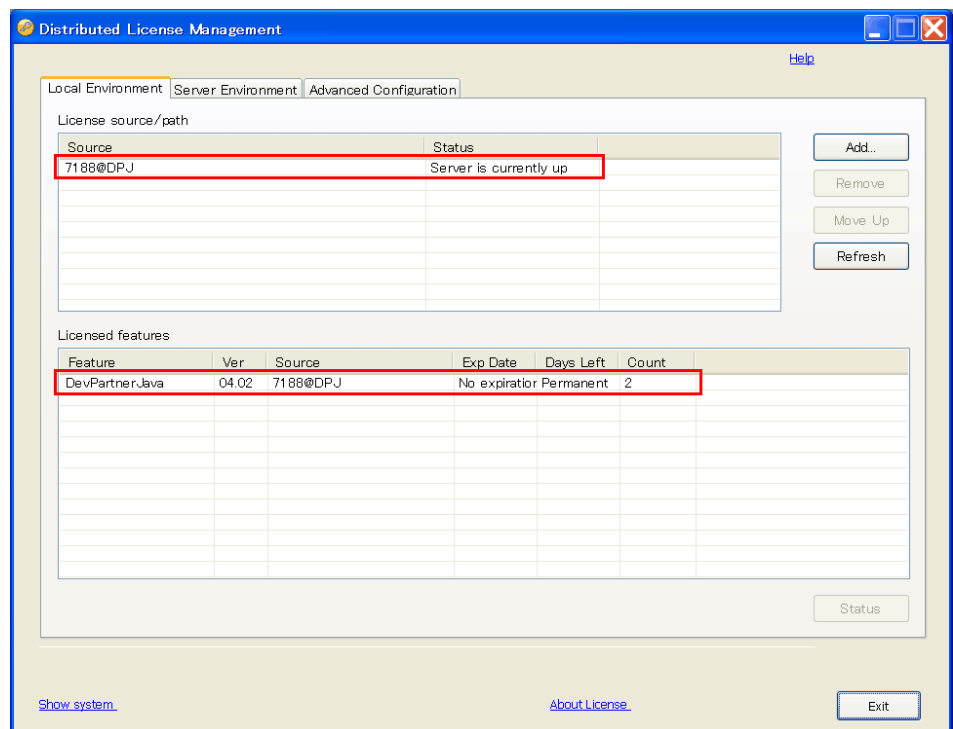


図12 DPJ コンカレント ライセンス適用後

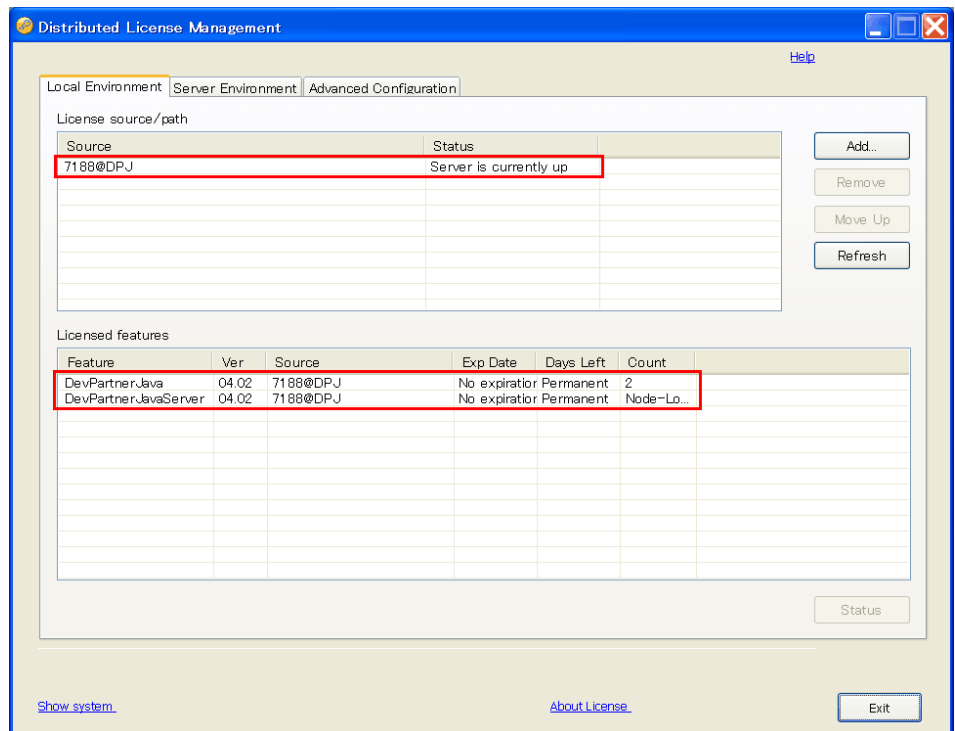


図13 DPJ コンカレント ライセンス + サーバー ネームド適用後

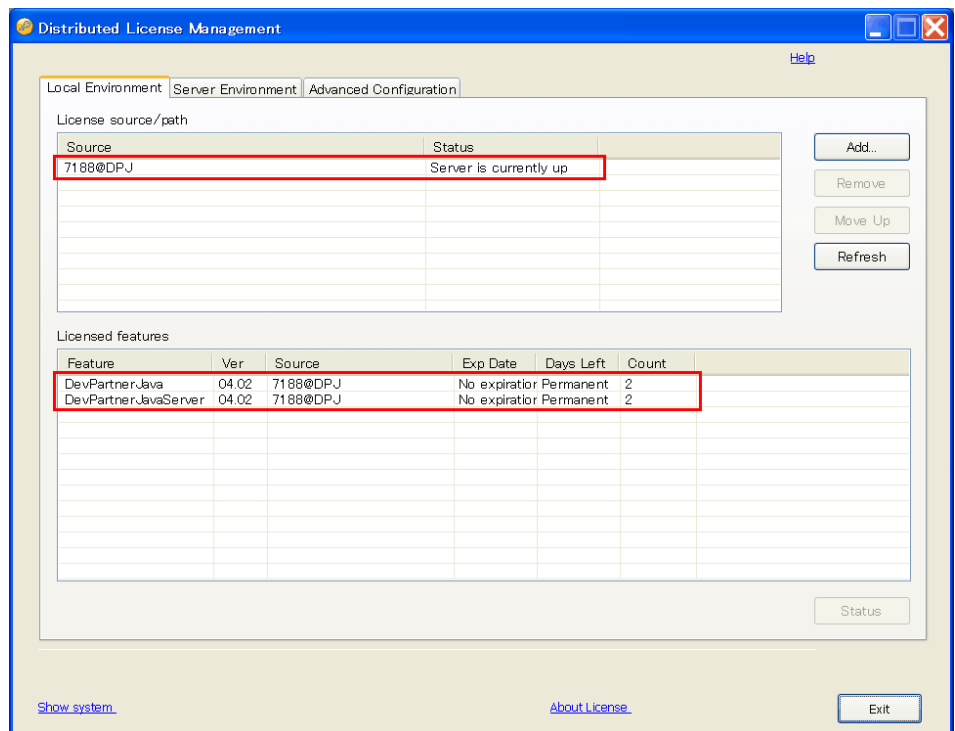


図14 DPJ コンカレント ライセンス + サーバー コンカレント適用後

DPJ コンカレント ライセンス（クライアント）の適用

DPJ コンカレント ライセンスおよび DPJ コンカレント ライセンス + サーバー ライセンスを使用する場合の適用手順は同一です。以下の手順を参考に適用処理を実行してください。

1. Windows の[スタート]ボタンから、[プログラム]>[Compuware]>[Distributed License Management] を選択し、ライセンス マネージャを起動してください。
2. [Local Environment] タブの [Add...] ボタンをクリックしてください。

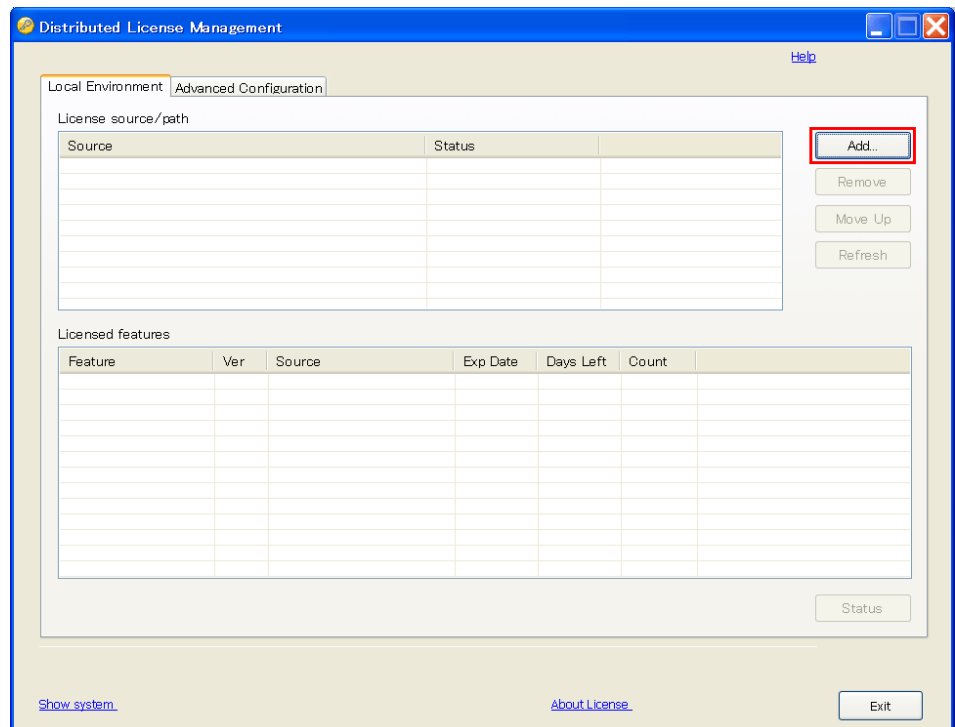


図15 ライセンス ファイルを追加する

3. テキスト ボックスに "7188@ライセンス サーバー名" を入力した後に、[OK] ボタンをクリックしてください。

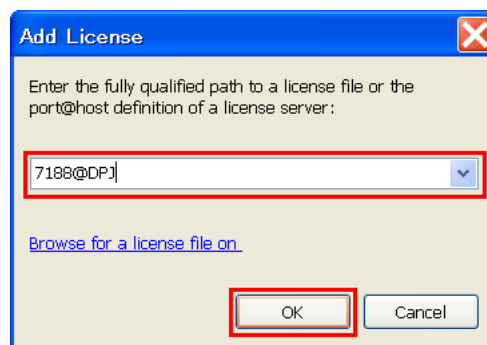


図16 7188@ライセンス サーバー名を指定します

4. ライセンス ファイルが適用されると、[Status]項目に以下のように表示されます。

メモ： DPJ コンカレント ライセンス (クライアント) の場合、"Server is currently up"

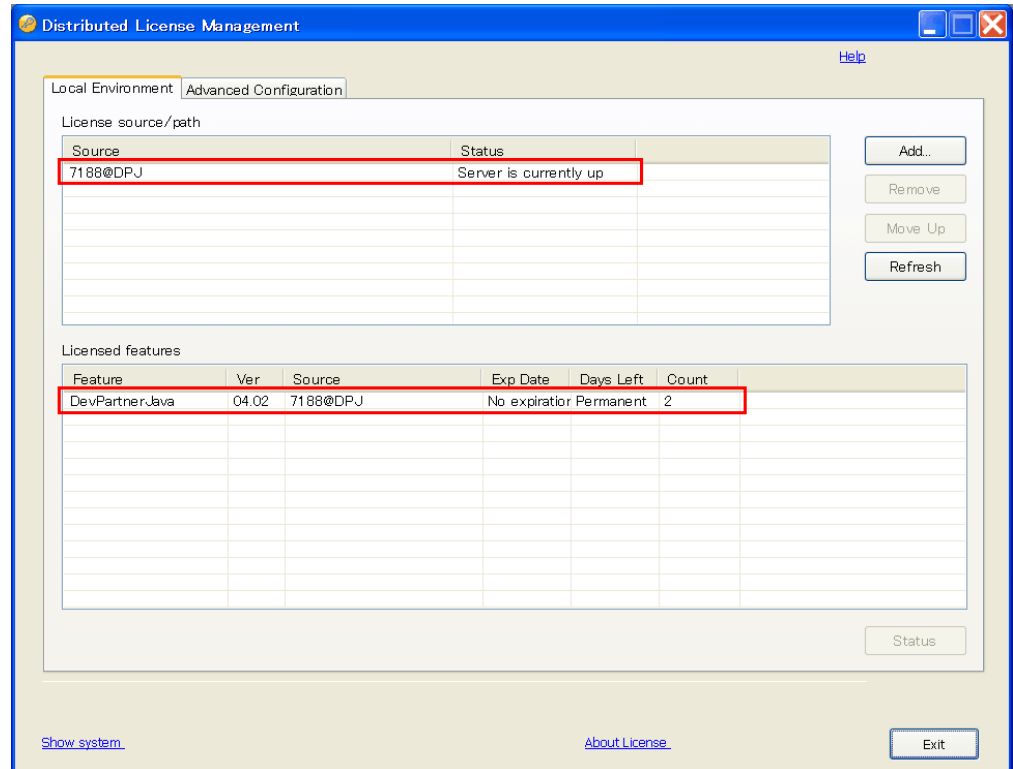


図17 ライセンス ファイル適用後

第3章 FAQ

Q1 ライセンス マネージャとクライアントが接続されているネットワーク ドメインが異なる 場合でも、接続できますか？

A1 接続できます。ping が通り、ライセンス マネージャが使用するポート 7188 が使用可能な環境であることを確認してください。

Q2 DevPartner Java 4.0のライセンス マネージャが稼動しています。同じ環境に DevPartner Java 4.3のライセンス マネージャはインストールできますか？

A2 できます。DevPartner Java 4.0 の LAU3.4 と DevPartner Java 4.3 の DLM4.2 は同一環境で共存できます。各ライセンス マネージャでライセンスを管理してください。

Q3 ライセンス マネージャが使用するマシンを変更する場合は、どうするのですか？

A3 ライセンス ファイルの再取得が必要になります。

Q4 DevPartnerをアンインストールせずに評価ライセンスから正式ライセンスに変更することはできますか？

A4 できます。「第2章 6. ライセンス ファイルと適用」からライセンス ファイルを適用してください。

Q5 DPJコンカレント ライセンスの場合、どのクライアントからライセンス要求があるかわかりますか？

A5 わかります。リアルタイムに確認する方法とログ ファイルを確認する方法の2通りの方法があります。

・リアルタイムに確認する方法：

[Local Environment]タブの[Licensed features]から、確認する製品を選択し、[Status]ボタンをクリックします。

なお、クライアントのDLMからもこの操作を行なうことにより、現在ライセンスの使用状況が確認できます。

・ログ ファイルを確認する方法：

[Server Environment]タブの[View Log...]ボタンをクリックします。

Q6 異なる製品のライセンス ファイルの追加をすることはできますか？

A6 できます。ネームド ライセンスの場合、[Local Environment]タブの[Add]ボタンから、コンカレント ライセンスの場合、[Server Environment]タブの[Add]ボタンからライセンス ファイルを追加します。

Q7 同一製品のライセンス ファイルの追加をすることはできますか？

A7 追加はできません。ライセンス ファイルを追加する操作はできますが、ライセンス数の加算にはなりません。この場合、弊社営業部にご連絡ください。

例えば、DevPartner Java 4.3 を1ライセンスと2ライセンスの2個のライセンス

ファイルを追加しても、有効となるライセンスは3ライセンスではなく、2ライセンスとなります。

第4章 お問い合わせ

ライセンスに関するご相談につきましては、以下の弊社営業部までお問い合わせください。

お問合せ先：

日本コンピュータ株式会社 営業部
TEL : 03-5473-4527 FAX : 03-5473-4539
E-MAIL : devpartnerj_sales@compuware.com

ライセンスの導入に関して、問題が発生した場合など、以下の情報を取得して、以下の弊社テクニカル・サービスデスクまでご連絡ください。

1. DLM の System Information 情報（Host ID を取得するとき使用した情報です）
2. ライセンスサーバーの動作している OS の正確なバージョン番号、サービスパック番号、VMWare や Virtual PC 等仮想環境の有無等の情報を取得してください。
3. なるべく詳細に問題点の記述をお願いいたします。

◆◆◆ テクニカル・サポートのご案内 ◆◆◆

オンライン・サポート・サイト FrontLine Japan

コンピュータの製品およびサポートに関する追加情報は、FrontLine Japan で提供されています。

<http://frontlinej.compuware.co.jp>

FrontLine Japan のご利用には事前のユーザー登録が必要です。

製品、サポートに関する重要な情報も配信されますので、是非この機会にご登録ください。

テクニカル・サービスデスク

営業時間 月～金 9:00～18:00 (祝祭日、弊社休業日は除く)

コンピュータ製品の利用に関しての技術的な質問やサポートに対するお問い合わせ窓口として、テクニカル・サービスデスクを設置しています。

お問い合わせの際は、FrontLine Japan のお問い合わせフォームをご利用ください。

緊急時には フリーダイヤル 0120-188-540 までお電話ください。

テクニカル・サポートの詳細な内容は、FrontLine Japan をご覧ください。